



「9.11 豪雨」により 市内に大きな被害 早期復旧に全力

了しました。また、国土交通省、農林水産省から、最大10台のポンプ車が配備され、こちらも24時間体制の排水作業により、14日には概ね排水が終了し、住宅や農地の浸水時間を可能な限り短縮することができました。

支援物資・ボランティアの援助

災害時相互応援協定を締結している市町村をはじめ、全国から、発災間もなく、食糧や毛布などの支援物資が届けられたほか、現地の家財の片づけや泥あげなどの作業に、県内外から多くのボランティアの皆さんにご協力をいただきました。

スピード感を持って

今回の台風18号による大雨被害には、災害救助法が適用され、今後、国や県の財政支援を得ながら、被災された皆さんの生活再建が一日でも早く達成できるように、被災者支援をはじめとする災害対策事業は、一層スピード感を持って取り組みます。

9.11 豪雨 被害状況 9月16日(水) 午後3時現在

区分	大崎市	古川	松山	三本木	鹿島台	岩出山	鳴子温泉	田尻
避難所	開設数(最多)	30	8	1	9	4	2	2
	人数(最多)	2,256	438	175	1,256	334	13	4
人的被害	重症	0	0	0	0	0	0	0
	軽症	0	0	0	0	0	0	0
家屋	床上浸水	205	178	0	17	0	1	8
	床下浸水	490	424	1	16	16	23	9
公共施設	学校教育	1	0	0	0	0	1	0
	その他	9	8	0	0	0	1	0
農業関連	農作物(ha)	2,628	1,435	190	336	165	154	98
	パイプハウス	1	0	0	0	0	1	0
	作業場・倉庫等	1	1	0	0	0	0	0
	その他	72	38	0	3	5	15	9
林道関連	林道	47	0	3	7	0	20	17
観光関連	観光施設	9	0	0	0	0	0	9
	温泉施設	4	0	0	0	0	1	3
	その他	2	0	0	1	0	1	0
商業関連	小売店	6	5	0	1	0	0	0
	スーパー・大型店	2	2	0	0	0	0	0
	その他	19	15	0	2	1	1	0
工業関連	工業関連施設	25	18	0	4	0	0	3
道路	市道通行止め(最大)	94	41	8	15	6	14	4
	国県道通行止め(最大)	10	1	1	3	1	0	2
その他被害	土砂崩れ	139	0	0	8	0	128	0
	がけ崩れ	1	0	0	0	0	0	1
停電	停電世帯数(最多)	154	154	0	0	0	0	0
水道	断水世帯数	0	0	0	0	0	0	0
ガス	不通戸数	0	0	0	0	0	0	0

■**洪井川破堤(3カ所)に伴う災害救助事案**

- ▶西荒井地区住民 147 人(ボート 113 人、ヘリコプタ 28 人) ▶新沼地区住民 6 人(ヘリコプタ 6 人)
- ▶師山地区住民 29 人(ボート 14 人、ヘリコプタ 15 人)

■**災害救助に係る関係機関**

- ▶4機関264人(大崎広域消防19人、仙台市消防局20人、県警察75人、自衛隊150人)
- ▶災害救援用ヘリコプタなど5機(県防災ヘリコプタ1機、仙台消防局ヘリコプタ1機、自衛隊ヘリコプタ3機)
- ▶ボート11艇(大崎広域消防4艇、警察4艇、自衛隊3艇)

■**自衛隊への災害派遣要請** ▶9月11日(金) 午前8時15分(午後7時に要請解除)

■**浸水面積(鳴瀬川水系概算・最大)** ▶9月11日(金) 約3,000 畝(うち洪井川約2,100 畝)

■**排水ポンプ車数(最大)** ▶9月12日(土) 10台 現在0台(作業終了)

宮城県に「大雨特別警報」

9月9日に上陸した台風18号は、日本を縦断して日本海に抜け、温帯低気圧へと変わりましたが、南からの湿った空気が次々に流れ込んだことで、広い範囲で大雨となりました。

県内では、10日から非常に激しい雨が降り続き、翌11日午前3時20分頃に、気象庁から、数十年に一度の大雨が予想されるとして、宮城県に初めて「大雨特別警報」が発令されました。

市内に避難情報などを発令

市内では11日の未明から非常に激しい雨が降り続き、危険な状況が想定されるため、緊急速報メールにより、午前2時30分に三本木・岩出山・鳴子温泉の全域に「避難準備情報」を発令し、午前3時15分に、鳴瀬川に架かる三本木大橋の水位が避難判断水位6mを超過したため、三本木全域に「避難勧告」を発令しました。午前4時30分には、古川・松山の全地域、鹿島台・田尻の一部地域へ「避難準備情報」を発令。午前4時

45分に鹿島台の一部地域に「避難勧告」を、5時10分には、古川全地域に2度目の「避難準備情報」を発令し、市内全域に早めの避難を呼びかけました。

その後、激しい雨が断続的に降り続き、午前6時15分に田尻の一部地域に「避難指示」、午前11時に鹿島台地域の一部地域にも「避難指示」を発令しました。

各地域に最大30カ所の避難所を開設し、最大で2,256人の皆さんが避難しました。

洪井川堤防決壊

今回、大水害をもたらした古川地域西荒井地区における洪井川左岸の堤防決壊は、午前5時前後から崩れはじめ、徐々に拡大していったものと推測されます。午前5時20分頃、現地で警戒に当たっていた地元消防団員から警戒本部へ「堤防が決壊したようだ」と一報が入り、対岸側の地域住民により、午前5時30分頃に事実であることが確認されました。西荒井地区、新沼地区、師山地区などの住宅

で床上、床下浸水や刈り取り間近な田んぼが冠水。一時的に孤立状態となっていました。

消防・警察・自衛隊による救助隊が176人を救助

救助に当たっていた古川消防署の要請により、古川消防支団も加わった救助活動が午前6時10分頃から始まりましたが、水の勢いが強く、活動がはかどらなため、午前8時15分、宮城県知事に対し、自衛隊の災害派遣を要請しました。

その後、古川消防署、仙台消防局、警察、自衛隊の4つの機関、総勢264人の救助隊が結成され、5機のヘリコプタ11艇のボートを駆使して、西荒井地区の住民147人、新沼地区の6人、師山地区の29人、合わせて176人を、日没までに救出することができました。

緊急復旧工事・排水

国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所は、宮城県の要請を受け、12日から洪井川の決壊した3カ所の緊急復旧工事を24時間体制で行い、14日まで完